

2013年3月21日 全7頁

Indicators Update

2月貿易統計

金額ベースでは持ち直し傾向続くも、輸出数量は依然低迷

経済調査部
エコノミスト 橋本政彦

[要約]

- 2013年2月の貿易統計では、輸出金額は前年比▲2.9%と、2ヶ月ぶりの前年割れとなり、市場コンセンサス（同▲1.7%）を下回った。輸出金額を価格と数量に分けると、円安の効果もあり輸出価格が前年比+15.0%と大幅に上昇する一方で、輸出数量が同▲15.5%と大幅に落ち込んだことが下押し要因となった。
- ただし、①前年の2012年がうるう年だったこと、②中国の春節が2012年は1月だったのに対し、2013年は2月であったこと、という特殊要因によって輸出数量の前年比伸び率が押し下げられており、今回の結果に関してはやや割り引いて見る必要がある。輸出金額を季節調整値で見ると前月比+1.3%と4ヶ月連続の増加となっており、価格上昇の効果によって輸出金額は持ち直しが続いている。
- 国内景気との連動性が高い輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、米国向けが3ヶ月ぶりの減少に転じ、アジア向け、EU向けが2ヶ月連続の減少となったことから、全体としては前月比▲1.0%と2ヶ月連続の減少となった。アジア向けに関しては、上述の春節要因による影響もあるとみられるが、春節による影響が小さい欧米向けに関しても減少しており、輸出数量は依然低迷が続いている。

貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2012年							2013年	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
輸出金額	▲2.3	▲8.1	▲5.8	▲10.3	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.3	▲2.9
コンセンサス									▲1.7
DIR予想									1.4
輸入金額	▲2.2	2.3	▲5.2	4.2	▲1.5	0.9	1.9	7.1	11.9
輸出数量	▲2.4	▲10.3	▲4.3	▲11.1	▲8.1	▲7.5	▲12.2	▲5.9	▲15.5
価格	0.1	2.4	▲1.6	0.9	1.7	3.6	7.3	13.0	15.0
輸入数量	▲0.6	7.1	▲2.1	4.3	▲1.0	▲0.9	0.0	▲1.1	▲0.1
価格	▲1.6	▲4.5	▲3.2	▲0.0	▲0.5	1.8	1.9	8.2	12.0
貿易収支	561	▲5,286	▲7,684	▲5,682	▲5,562	▲9,570	▲6,457	▲16,309	▲7,775

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

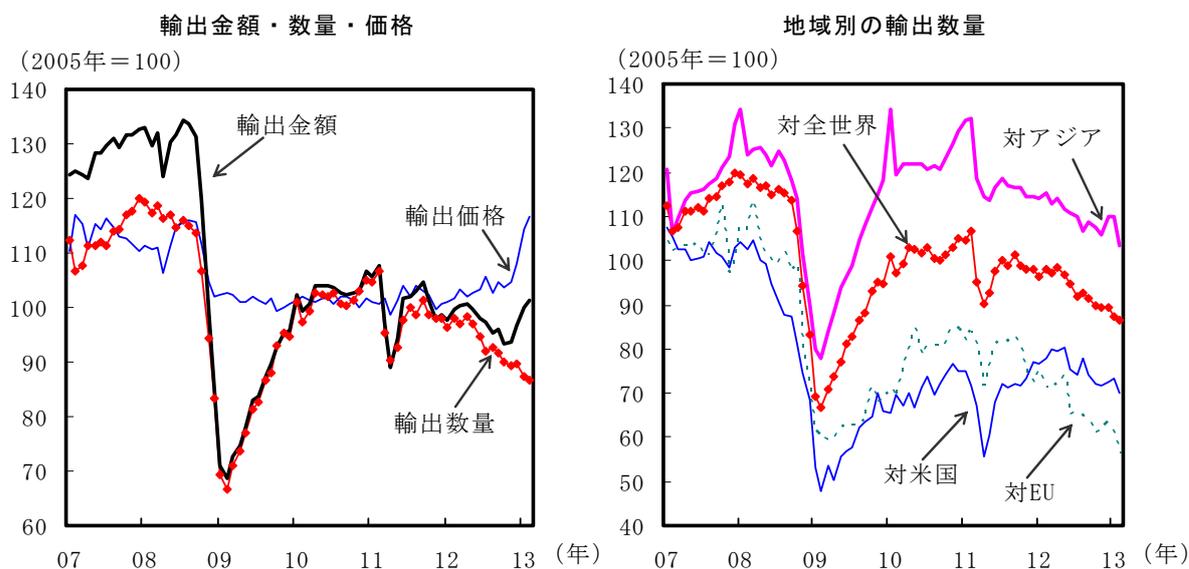
輸出金額は持ち直し傾向続くも、輸出数量は依然低迷

2013年2月の貿易統計では、輸出金額は前年比▲2.9%と、2ヶ月ぶりの前年割れとなり、市場コンセンサス（同▲1.7%）を下回った。輸出金額を価格と数量に分けると、円安の効果もあり輸出価格が前年比+15.0%と大幅に上昇する一方で、輸出数量が同▲15.5%と大幅に落ち込んだことが下押し要因となった。ただし、①前年の2012年がうるう年だったこと、②中国の春節が2012年は1月だったのに対し、2013年は2月であったこと、という特殊要因によって輸出数量の前年比伸び率が押し下げられており、今回の結果に関してはやや割り引いて見る必要がある。輸出金額を季節調整値で見ると前月比+1.3%と4ヶ月連続の増加となっており、価格上昇の効果によって輸出金額は持ち直しが続いている。

国内景気との連動性が高い輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、米国向けが3ヶ月ぶりの減少に転じ、アジア向け、EU向けが2ヶ月連続の減少となったことから、全体としては前月比▲1.0%と2ヶ月連続の減少となった。アジア向けに関しては、上述の春節要因による影響もあるとみられるが、春節による影響が小さい欧米向けに関しても減少しており、輸出数量は依然低迷が続いている。

2月の輸入金額は、前年比+11.9%と4ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量は前年比▲0.1%と減少したものの、円安によって輸入価格が同+12.0%と大幅に上昇したことが輸入金額を押し上げた。この結果、貿易収支は▲7,775億円と、8ヶ月連続の赤字となった。また、貿易収支を季節調整値で見ても、▲1兆866億円と赤字幅は前月から拡大した。

輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移（季節調整値）



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

うるう年、春節の影響で前年比の輸出金額は2ヶ月ぶりの減少

輸出金額（前年比）を主要商品別にみると、一般機械、電気機器の減少が輸出金額を押し下げた。

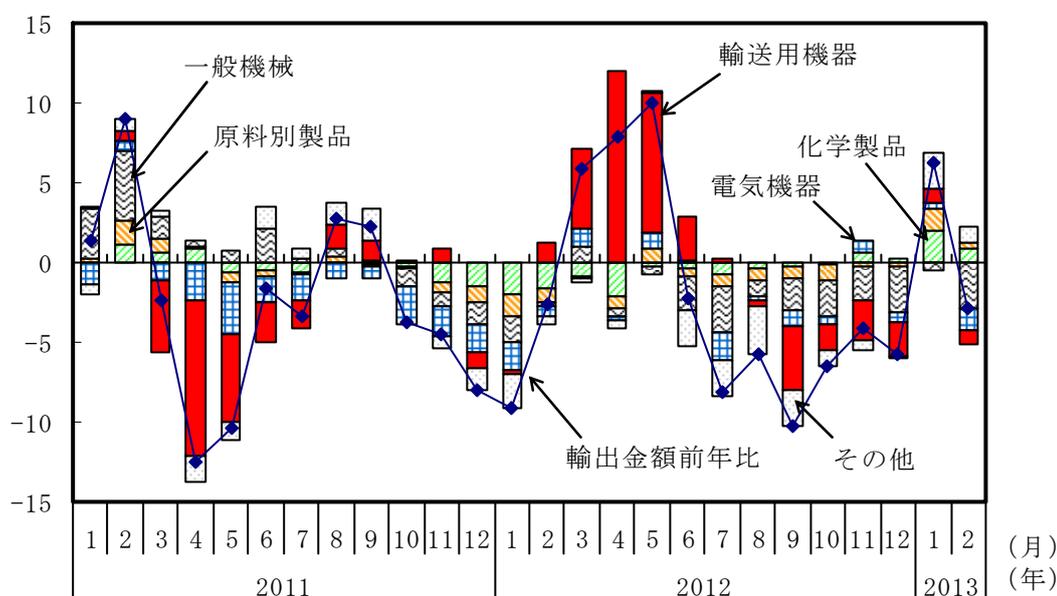
一般機械は前年比▲13.4%と11ヶ月連続の減少となった。主要輸出先であるアジア向けが前年比▲20.6%と大幅に減少したことが全体を押し下げた。なかでも中国向けが同▲27.0%と大きく減少、減少幅が1月（同▲10.5%）から大きく拡大したが、これは春節要因によるところが大きいとみられる。ASEAN、NIEsといった他のアジア地域向けの輸出も軒並み大きく減少している。米国向けに関しては「原動機」の増加を主因に、前年比+5.8%と2ヶ月連続の増加となった。

電気機器は、前年比▲7.6%と2ヶ月ぶりの前年割れとなった。電気機器に関しても、全体の7割弱がアジア向け輸出であるため、中国（同▲20.6%）を中心にアジア向け輸出の減少が全体を押し下げた。

一方、うるう年、春節といった特殊要因による押し下げがあるにも関わらず、化学製品、原料別製品は前年比増加となった。化学製品は、アジア、米国向けの増加が続いており、世界全体向けでは前年比+9.2%と4ヶ月連続の増加となり、堅調な推移が続いている。原料別製品はASEAN向けの「鉄鋼」の増加により、前年比+3.4%と2ヶ月連続の増加となった。

輸出金額の商品別内訳

（前年比、%、%pt）



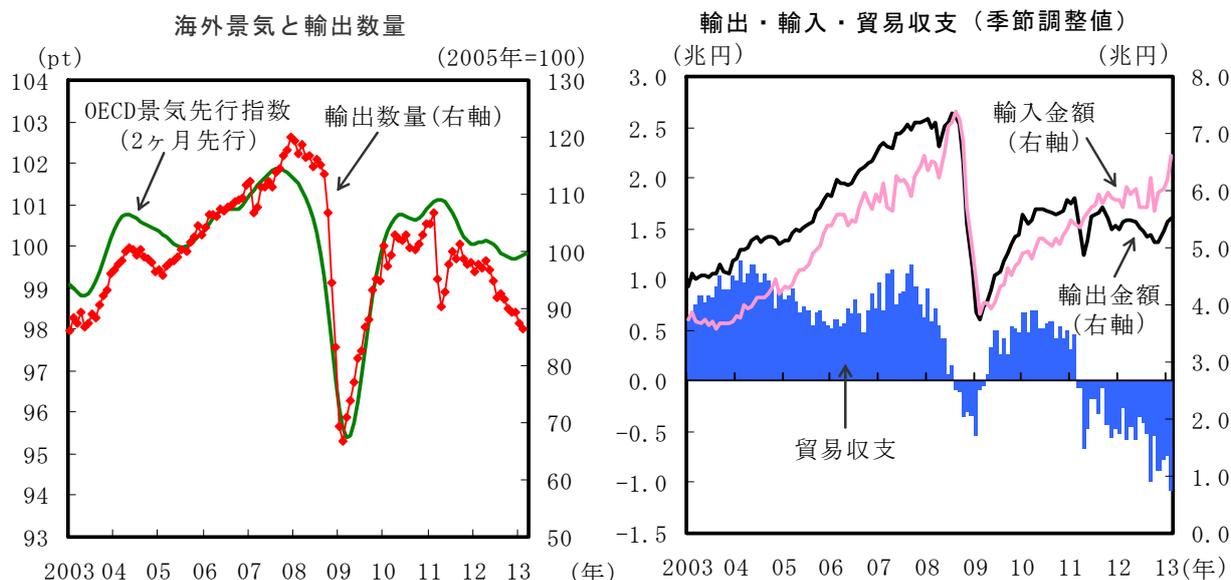
（注）その他は「食料品」、「鉱物性燃料」、「原料品」、「その他」の合計。

（出所）財務省統計より大和総研作成

輸出数量は次第に持ち直しへ、貿易赤字は当面続くも赤字幅は徐々に縮小

輸出の先行きに関しては、海外経済の回復と、このところの円安による価格競争力の改善によって、輸出数量は次第に持ち直しに向かうと見込んでいる。景気停滞が続くEU向け輸出は当面低調に推移する見込みだが、緩やかな景気拡大が続く米国向けと、足下で景気改善の動きが見られるアジア向けが牽引役となるだろう。LNG等のエネルギーの輸入数量の高止まりから貿易収支は赤字傾向が定着しており、貿易収支の黒字化は当面見込めないが、輸出数量が増加に向かうのに伴って、赤字幅は徐々に縮小していくと見込んでいる。

海外景気と輸出数量、貿易収支



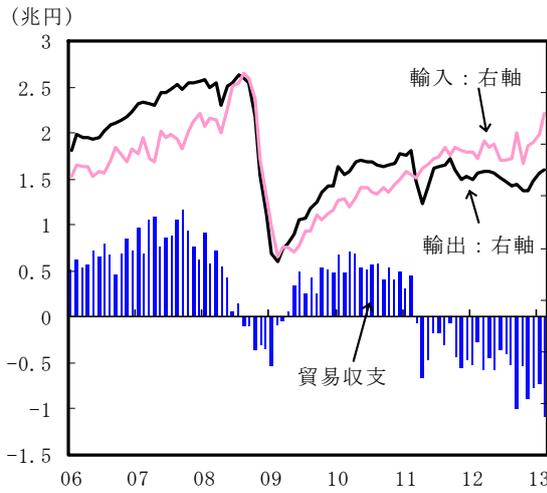
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

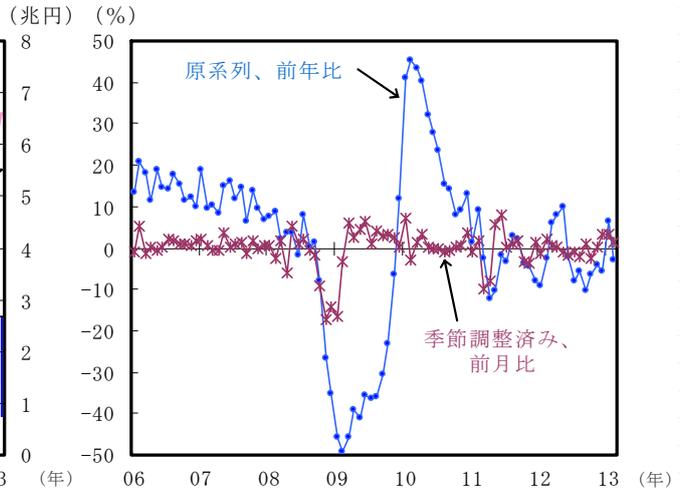
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

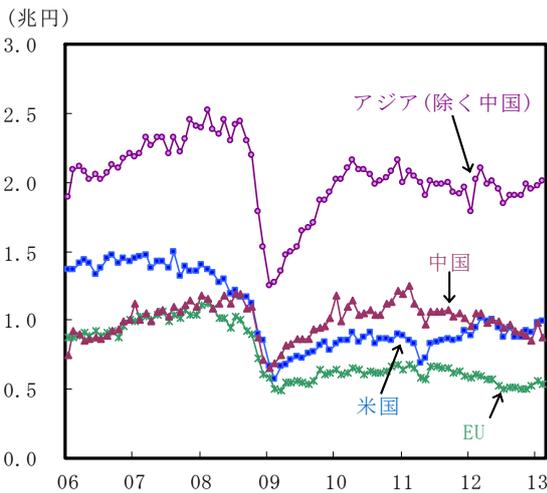


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

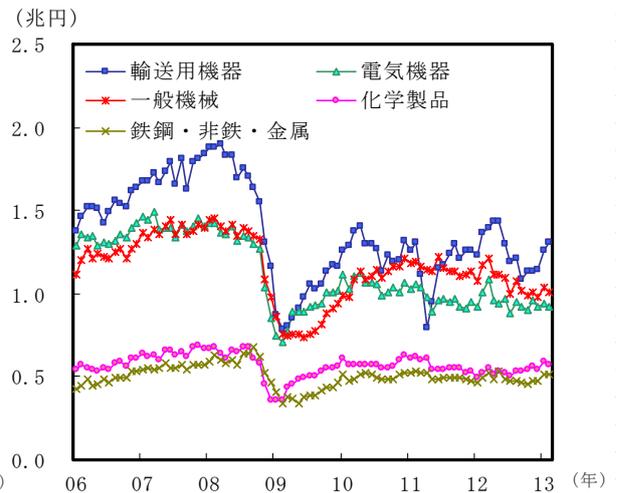


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

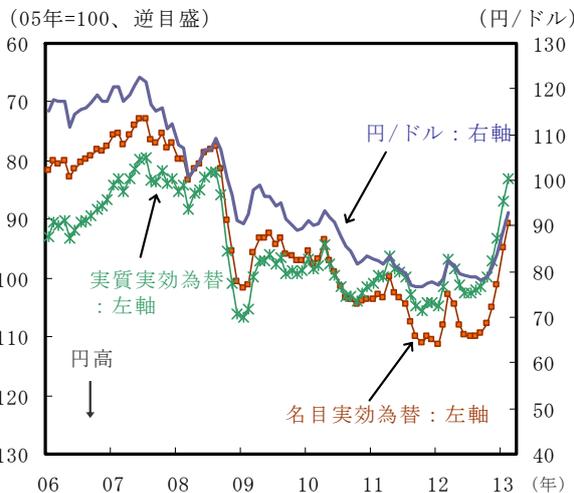


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

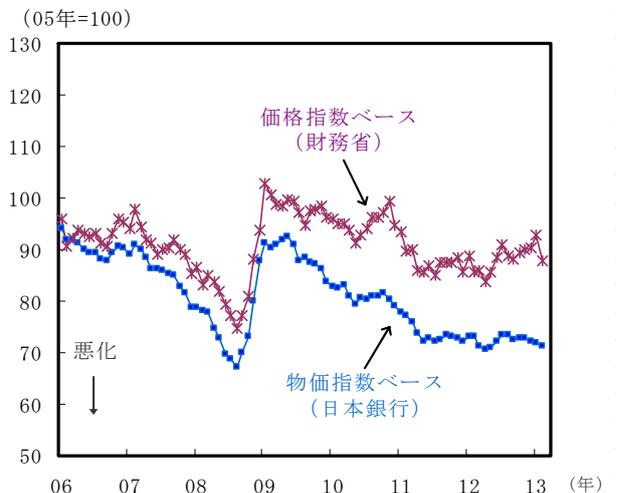


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.3	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.3	▲2.9	100.0	▲2.9
食料品	10.3	11.0	1.4	▲3.5	27.2	2.2	0.5	0.0
原料品	▲2.8	22.1	10.3	18.9	25.1	15.1	1.9	0.2
鉱物性燃料	▲15.0	▲31.7	▲10.0	6.4	14.2	18.4	1.4	0.2
化学製品	▲2.9	▲1.7	6.5	2.5	20.0	9.2	10.7	0.9
原料別製品	▲5.7	▲7.2	▲2.4	▲2.1	10.5	3.4	13.5	0.4
鉄鋼	▲6.5	▲9.7	▲4.3	▲1.6	3.1	5.6	5.5	0.3
非鉄金属	▲11.5	▲8.6	4.7	7.5	38.6	11.8	2.3	0.2
金属製品	3.1	▲1.1	3.4	▲1.9	13.1	▲1.2	1.6	▲0.0
一般機械	▲10.5	▲11.3	▲10.3	▲13.3	▲2.7	▲13.4	19.3	▲2.9
電気機器	▲5.3	▲2.5	4.6	▲3.3	2.5	▲7.6	16.2	▲1.3
半導体等電子部品	▲7.8	4.1	8.5	▲4.5	1.1	▲9.8	4.7	▲0.5
IC	▲7.4	10.0	9.3	▲3.9	3.8	▲9.2	3.1	▲0.3
映像記録・再生機器	2.6	▲11.9	40.7	▲2.1	▲23.6	▲39.0	0.6	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲19.6	▲0.4	8.1	2.8	▲2.4	▲10.4	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲7.2	▲3.1	0.6	▲2.4	▲0.4	▲7.7	2.3	▲0.2
輸送用機器	▲16.6	▲7.2	▲10.1	▲9.5	3.3	▲3.6	24.6	▲0.9
自動車	▲14.7	▲12.3	▲5.2	▲6.6	2.1	▲5.3	15.6	▲0.9
自動車の部分品	▲6.4	▲0.8	▲2.5	▲7.3	14.3	1.5	5.1	0.1
その他	▲15.5	▲5.8	▲4.7	▲4.0	13.3	3.7	11.9	0.4
科学光学機器	▲1.2	▲1.5	0.2	▲0.5	9.7	▲4.6	3.0	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.9	3.1	5.3	▲0.8	10.9	5.7	100.0	5.7
食料品	13.1	▲2.9	23.8	1.7	12.2	▲2.7	0.5	▲0.0
原料品	23.6	▲6.7	62.5	105.1	▲39.6	▲21.5	0.4	▲0.1
鉱物性燃料	2337.5	▲49.0	▲88.3	15.8	▲2.5	125.3	0.1	0.1
化学製品	▲1.9	▲4.4	9.2	0.6	16.7	17.5	6.0	0.9
原料別製品	3.3	6.8	▲4.1	▲4.5	12.8	1.4	7.3	0.1
鉄鋼	10.2	11.6	▲21.5	▲8.2	▲2.5	▲8.4	2.2	▲0.2
非鉄金属	9.9	9.4	▲7.2	▲30.8	10.5	▲10.4	0.5	▲0.1
金属製品	1.1	10.2	11.9	14.7	29.0	8.5	1.7	0.1
一般機械	5.9	2.5	0.8	▲6.7	4.4	5.8	23.4	1.3
電気機器	2.9	▲1.6	13.3	7.4	10.5	9.5	14.9	1.4
半導体等電子部品	▲17.0	▲4.0	4.8	▲1.5	4.1	7.2	2.0	0.1
IC	▲25.3	▲7.1	▲1.8	1.4	20.4	4.0	1.1	0.0
映像記録・再生機器	▲10.1	▲9.8	12.3	▲14.8	▲11.0	▲30.9	0.8	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲11.9	▲16.9	▲16.3	▲1.4	▲25.0	▲3.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	8.2	6.4	5.5	18.3	16.1	6.9	1.5	0.1
輸送用機器	▲4.8	7.9	9.6	▲0.0	16.0	2.9	38.8	1.1
自動車	▲7.3	4.8	5.2	▲1.3	10.5	▲3.4	27.8	▲1.0
自動車の部分品	▲1.0	7.6	25.9	▲1.5	29.9	15.2	6.8	0.9
その他	▲7.8	1.2	▲3.5	▲3.3	6.9	10.1	8.7	0.8
科学光学機器	▲0.9	▲20.2	▲6.5	▲11.8	7.3	12.5	2.2	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲21.1	▲20.1	▲19.9	▲11.1	▲4.5	▲9.6	100.0	▲9.6
食料品	▲15.3	▲0.6	▲9.9	▲7.2	22.9	7.4	0.2	0.0
原料品	▲20.3	55.0	▲13.4	5.5	17.6	9.6	1.5	0.1
鉱物性燃料	114.0	21.1	▲4.6	▲14.7	374.7	18.1	0.1	0.0
化学製品	▲7.6	▲15.7	▲8.1	▲9.2	0.5	6.2	9.8	0.5
原料別製品	▲19.1	▲12.7	▲12.3	▲4.4	▲9.0	▲21.7	7.3	▲1.8
鉄鋼	▲25.7	▲4.7	▲26.4	27.8	▲36.7	▲33.4	0.9	▲0.4
非鉄金属	▲25.6	11.6	13.3	▲18.3	▲19.1	▲64.3	0.7	▲1.1
金属製品	▲3.8	15.9	8.8	15.2	20.8	▲10.6	1.6	▲0.2
一般機械	▲20.1	▲14.8	▲16.9	▲15.2	2.7	▲9.0	26.7	▲2.4
電気機器	▲14.7	▲15.6	▲1.3	▲2.2	▲1.4	▲3.6	19.9	▲0.7
半導体等電子部品	▲29.6	▲37.0	▲25.7	▲9.6	0.5	▲8.9	2.6	▲0.2
IC	▲1.3	▲18.5	▲16.5	▲2.1	17.8	14.3	1.6	0.2
映像記録・再生機器	22.6	0.5	43.7	27.2	▲30.8	▲38.2	1.4	▲0.8
音響・映像機器の部分品	29.0	13.2	47.7	40.5	45.6	31.7	0.7	0.2
電気回路等の機器	▲17.5	▲17.4	▲3.0	▲7.1	4.7	3.3	1.8	0.1
輸送用機器	▲35.5	▲34.7	▲34.6	▲18.1	▲10.6	▲25.7	18.7	▲5.9
自動車	▲43.1	▲43.6	▲21.4	▲34.8	▲10.8	▲23.3	9.9	▲2.7
自動車の部分品	▲15.3	▲3.1	▲14.5	▲10.6	9.5	▲11.7	5.9	▲0.7
その他	▲16.1	▲20.5	▲28.9	▲9.7	▲13.1	3.8	15.9	0.5
科学光学機器	▲20.4	▲31.1	▲21.0	▲17.9	▲9.4	▲9.1	3.7	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.3	▲5.0	▲2.5	▲5.7	8.4	▲5.2	100.0	▲5.2
食料品	12.9	12.6	▲5.0	▲2.9	31.0	4.4	0.7	0.0
原料品	▲0.2	23.0	12.6	15.3	33.8	17.3	3.1	0.4
鉱物性燃料	▲22.5	▲23.7	▲5.5	2.0	25.1	21.0	2.0	0.3
化学製品	▲3.2	▲0.3	8.3	5.3	23.6	9.6	15.3	1.3
原料別製品	▲7.2	▲11.6	▲1.2	▲0.0	13.7	4.3	17.5	0.7
鉄鋼	▲8.6	▲16.1	▲0.7	1.7	7.9	6.7	7.9	0.5
非鉄金属	▲11.5	▲14.7	3.3	6.1	43.7	15.4	3.7	0.5
金属製品	2.7	▲6.7	▲0.2	▲7.4	7.3	▲1.1	1.8	▲0.0
一般機械	▲12.8	▲12.0	▲14.1	▲14.8	▲6.6	▲20.6	18.5	▲4.5
電気機器	▲5.0	0.5	4.4	▲5.7	1.6	▲12.3	19.7	▲2.6
半導体等電子部品	▲5.9	8.9	11.4	▲4.4	1.4	▲11.0	7.6	▲0.9
I C	▲6.4	12.9	11.3	▲4.5	2.0	▲11.5	5.3	▲0.6
映像記録・再生機器	10.2	▲13.2	60.6	▲2.8	▲21.7	▲40.4	0.6	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲28.5	▲12.2	3.4	▲11.3	▲17.0	▲27.4	0.5	▲0.2
電気回路等の機器	▲7.5	▲1.5	0.4	▲5.4	▲3.6	▲10.5	3.3	▲0.4
輸送用機器	▲17.0	▲14.2	▲23.4	▲24.8	▲8.9	▲14.7	8.7	▲1.4
自動車	▲14.6	▲31.5	▲35.0	▲23.2	▲18.6	▲24.2	3.7	▲1.1
自動車の部分品	▲9.6	▲9.6	▲15.3	▲12.6	9.5	1.9	4.3	0.1
その他	▲6.4	5.2	6.4	▲0.2	23.6	4.8	14.4	0.6
科学光学機器	2.6	8.9	6.6	5.1	18.1	▲4.2	3.8	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2012/09	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.1	▲11.7	▲14.5	▲15.9	2.9	▲15.8	100.0	▲15.8
食料品	100.7	49.4	▲28.9	▲19.9	▲11.5	▲11.7	0.2	▲0.0
原料品	▲7.7	26.6	14.1	18.7	43.0	14.6	5.0	0.5
鉱物性燃料	7.0	▲8.5	0.9	▲54.1	▲19.3	34.2	1.2	0.3
化学製品	▲3.7	3.5	3.8	▲0.3	38.6	12.6	18.0	1.7
原料別製品	▲12.6	▲17.6	▲19.2	▲12.9	6.5	▲16.5	14.3	▲2.4
鉄鋼	▲19.7	▲23.9	▲27.2	▲26.7	▲17.6	▲26.4	4.5	▲1.4
非鉄金属	▲9.6	▲27.8	▲18.5	11.4	59.2	▲7.5	3.8	▲0.3
金属製品	1.4	▲5.5	▲20.6	▲22.8	▲2.8	▲11.6	1.8	▲0.2
一般機械	▲29.1	▲20.3	▲24.5	▲22.3	▲10.5	▲27.0	19.7	▲6.1
電気機器	▲6.7	▲2.2	▲7.1	▲16.9	▲5.2	▲20.6	21.2	▲4.6
半導体等電子部品	▲9.6	11.4	3.4	▲19.1	▲4.9	▲19.6	8.1	▲1.7
I C	▲12.9	16.7	▲1.2	▲23.8	▲9.6	▲21.0	5.7	▲1.3
映像記録・再生機器	27.3	▲22.2	51.3	▲23.9	▲42.4	▲62.0	0.6	▲0.8
音響・映像機器の部分品	▲27.5	▲17.3	▲2.6	▲8.4	▲2.5	▲7.6	0.9	▲0.1
電気回路等の機器	▲8.6	▲9.6	▲15.6	▲14.0	▲9.9	▲19.9	3.6	▲0.8
輸送用機器	▲32.1	▲54.1	▲55.4	▲47.5	▲36.0	▲37.3	8.4	▲4.2
自動車	▲44.5	▲82.0	▲68.6	▲52.8	▲60.4	▲54.1	2.8	▲2.8
自動車の部分品	▲17.5	▲28.1	▲43.5	▲42.8	▲12.7	▲16.7	5.4	▲0.9
その他	▲2.0	7.1	6.7	▲3.0	24.4	▲8.8	11.9	▲1.0
科学光学機器	2.6	4.2	3.3	7.6	27.3	▲5.7	5.8	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成